

Nomos

No.48 Jun. '21

Nomos

Nomos

No.48 Jun. '21

ノモス 第48号 2021年 6 月

ARTICLES

The Evolutional Process of “Social Rights” in India (1)

The Difference in Political Philosophy between Spinoza and Hobbes
—A Study of “The State and the social Function of Religion”
(chap.9) in Leo Strauss’s *Spinoza’s Critique of Religion* (II)—

The Nature of Intellectual Property Right and The Basic Theory of Injunction in China

STUDY NOTES

Contempt of Court in India

TRANSLATIONS

Report of the Special Rapporteur on the rights of indigenous peoples,
The situation of indigenous peoples in Canada (A/HRC/27/52/Add.2)

LECTURES

Book Review Session: Taira NISHI, *Recht und Macht: zur Genealogie der internationalen Politologie*, Nagoya: The University of Nagoya Press, 2018

Legal Anti-Positivism and Formation of Dynamic Conception of International Legal Order

In Search of Effective Conflict Resolution- The League of Nation and, The Pact of Paris
Viewed By Contemporaries

Interwar International Legal Thought in a Broader History of Ideas

The “Social” Thought in International Legal Theories

Institute of Legal Studies, Kansai University

論 説

インドにおける「社会権」の生成過程（一）

スピノザとホッブズの政治哲学における国家成立の問題とその哲学的基礎について

—レオ・シュトラウス『聖書学の基礎としてのスピノザの宗教批判』

第9章「国家と宗教の社会的機能」読解を通して—

中国法における知的財産権の性質と差止請求の基礎理論

研究ノート

裁判所侮辱とインド司法

翻 訳

「先住民族の権利に関する国連特別報告者報告

—カナダの先住民族の状況」（A/HRC/27/52/Add.2）

行事記録

「帝国」的实践研究班主催合評会（社会思想史学会との共催）

「西 平等『法と力：戦間期国際秩序思想の系譜』（名古屋大学出版会、2018年）を読む」

反法実証主義と動態的国際秩序観の形成—「国際秩序の法的構想」から『法と力』へ

実効的な紛争解決枠組みを求めて—国際連盟、不戦条約の同時代的意義

戦間期国際法思想のその思想的文脈

国際秩序思想における「社会」思想の意義—社会思想史学会によせて—

関西大学法学研究所

第四十八号 二〇二一年六月

関西大学法学研究所

Nomos

No.48 Jun.'21

ノモス 第48号 2021年 6 月

目 次

論 説

- インドにおける「社会権」の生成過程 (一)……………安田 信之 (1)
- スピノザとホッブズの政治哲学における国家成立の問題とその哲学的基礎について
— レオ・シュトラウス『聖書学の基礎としてのスピノザの宗教批判』
第9章「国家と宗教の社会的機能」読解を通して —……………河村 厚 (23)
- 中国法における知的財産権の性質と差止請求の基礎理論……………鄭 路 (53)

研究ノート

- 裁判所侮辱とインド司法……………浅野 宜之 (67)

翻 訳

- 「先住民族の権利に関する国連特別報告者報告
— カナダの先住民族の状況」(A/HRC/27/52/Add.2)
……………ジェイムズ・アナヤ (James Anaya) (85)
(角田 猛之訳)

行事記録

- 「帝国」的实践研究班主催合評会 (社会思想史学会との共催)
「西 平等『法と力：戦間期国際秩序思想の系譜』(名古屋大学出版会、2018年)を読む」
……………安武 真隆 (113)
- 反法実証主義と動態的国際秩序観の形成 — 「国際秩序の法的構想」から『法と力』へ
……………小田川大典 (115)
- 実効的な紛争解決枠組みを求めて — 国際連盟、不戦条約の同時代的意義……三牧 聖子 (120)
- 戦間期国際法思想のその思想史的文脈……………西村 邦行 (127)
- 国際秩序思想における「社会」思想の意義 — 社会思想史学会によせて —……西 平等 (134)

2020年度研究活動報告	(139)
関西大学法学研究所規程	(151)
関西大学法学研究所利用内規	(154)
ノモス執筆要領	(156)
ノモス編集要項	(157)
関西大学法学研究所『特別行事報告書』刊行案内	(158)
関西大学法学研究所『研究叢書』刊行案内	(165)
関西大学法学研究所『ノモス』刊行案内	(169)